



# 防護衣を着よう！

## 脚部を保護するチェーンソー作業用防護衣

チェーンソーによる切創事故が多発しています。  
チェーンソー作業には、平成20年の改正により、防護衣の着用が  
林業・木材製造業労働災害防止規程に定められました。  
チェーンソーで作業する人は、是非とも防護衣を着用しましょう。

### チェーンソーの使用は危険を伴います

#### ■チェーンソーによる切創事故が多発

特に、初心者によく見られます。

#### ■主な要因

キックバック、操作ミス、無理な姿勢での操作

#### ■防護衣の着用の効果

身体の近くで構えることが出来て、チェーンソー  
をしっかりと支えた安全な操作姿勢になります。



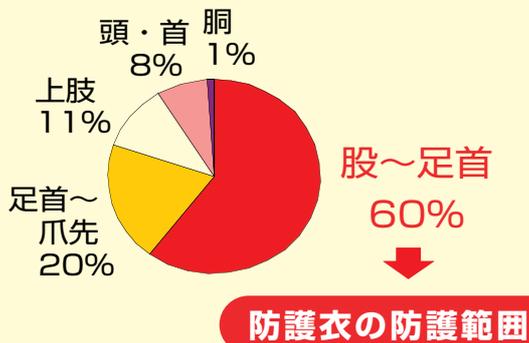
### 防護衣で災害を予防しましょう！

■チェーンソーによる被災の多くは脚部です。

■災害件数の約6割が防護衣の防護範囲にあります。

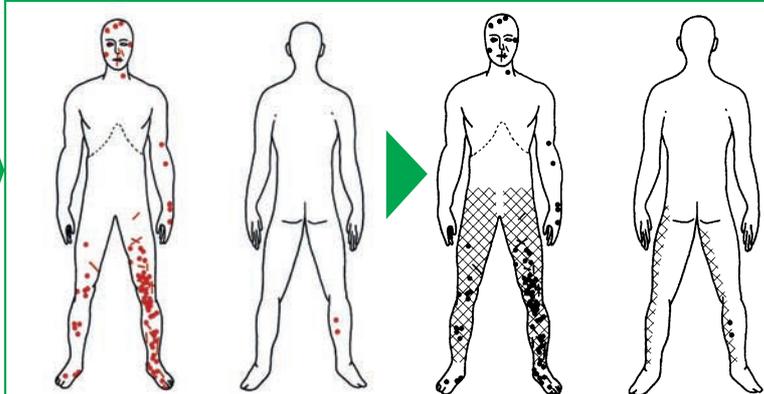
■防護衣を着ると、チェーンソーによる災害が大幅に減ることを示しています。

チェーンソーによる被災位置の分布割合



チェーンソーによる被災位置

防護衣の防護範囲



(被災位置は林業・木材製造業労働災害防止協会の調査による)

## 防護衣のタイプ

- 防護衣には、いくつかのタイプがあります。

(ズボン型・チャップス型・ローハイド型)など

- 作業者の熟練度や作業状況によって使い分けることができます。



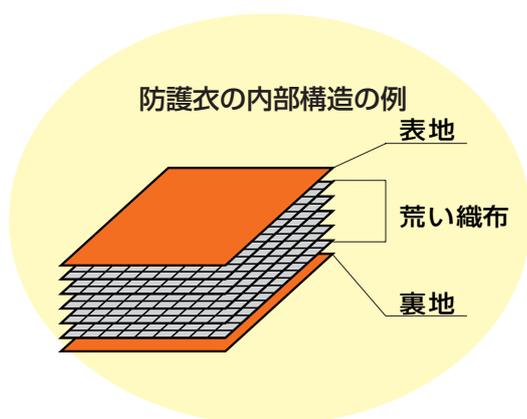
・ズボン型



・チャップス型

## 防護衣が体を護る仕組み — 防護衣は繊維のかたまりです —

- 防護衣の中は、ゆるく編んだ生地が幾層にも重ねられています。
- チェーンソーの刃があたると繊維の束が引き出され、駆動軸に巻き付き回転が止まります。これにより体が切れることを防ぎます。



チェーンソーの刃に絡む



駆動軸に巻き付く

## 防護衣の取扱いは説明書をよく読んで

### ■ 傷ついた防護衣は危険、廃棄しましょう

チェーンソーの刃があたって繊維が引き出された防護衣は、チェーンソーを止める性能が低下しています。傷ついた防護衣は危険です。新しい物に取り替えましょう。廃棄の基準は、メーカーの指示に従ってください。

### ■ 汚れたときの洗濯方法

洗濯は、メーカーの指定する方法で行ってください。間違った洗濯方法は、防護材がずれる、部分的に偏るなどから、性能を発揮できない場合があります。

# 防護衣は、チェーンソーから体を守ります。

チェーンソーを用いて作業を行う場合には、  
防護衣を正しく着用するようにしましょう。